



なでしこ

令和7年12月2日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】 599名

【校風】かしく なかよく たくましく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かいばいやりぬく子

だれかのために思って

校長 村田 寿一

日に日に寒さが厳しくなってきました。月日の流れは早いもので、もう12月、令和7年があとひと月で終わろうとしています。11月29日の谷田小音楽会には、多くのご来賓、保護者の皆様方が学校へ観観に来ていただきありがとうございました。お家の方の顔を見つけて、笑顔で手を振る様子や緊張しながらも頑張ろうとする子ども達の姿を見ると、やはり子ども達の基盤はご家庭であり、お家の方の励ましが大きな活力になっていることを強く感じました。皆様に最高の姿を見せたいと、学年で気持ちや心を一つにして、音楽を作り上げていくことに子ども達は喜びを感じつつ、本当によくがんばってきました。金管バンドの皆さん、そしてどの学年もその成果を存分に発揮することができ、私も目頭が熱くなりました。音楽会当日にお話させていただきましたことの繰返しになりますが、谷田っ子達は本当に素晴らしい成長を見せてくれています。ご参観いただいたご来賓の皆様、保護者の皆様には、たくさん拍手と温かい励ましをいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも、谷田っ子たちをあたたかい眼差しで見守り、ともに育てていただければと思います。どうぞ、よろしく願いいたします

さて、素晴らしい成長つながりで、今回の学校だよりでどうしてもお伝えしたいことがあります。それは11月6～7日に実施した6年生旅行の直後に起きた出来事です。修学旅行を無事終え、ほっと一息ついたのもつかの間、6年3組の担任の先生が学校の駐車場付近で転倒し、大きなけがを負ってしまったとの連絡が入ったのです。不幸中の幸い、すぐに病院で処置をしてもらい、顔を打ってしまい外傷はひどいけれど少し休めばすぐに戻れそうです、との言葉をいただきました。それを受け、週明けの月曜日、6年生の子ども達には私から事の概要と、心配をかけてしまったことについてのお詫びの話をさせてもらいました。子ども達は皆一様に心配そうな表情を浮かべながらも状況を受け止めてくれています。特に6年3組では目に涙を浮かべながら話を聞く児童の姿がありました。それから3日ほどたち、けがをってしまった先生から連絡が入りました。先生からは「今朝自宅のポストに、クラスの子も達全員からのお手紙が入っていました。私は感動で涙が止まりません。」とお話でした。私もそれを聞き思わず涙を流してしまいました。大好きな担任の先生が急にいなくなり、誰よりもショックを受けたはずの子ども達が、自分達のことなど脇に置き、先生を気遣い、逆に心配をかけないようやさしさや思いやりがあふれた手紙を誰から言われたわけでもなく自然と書いてくれたこと。本当にうれしかったです。谷田っ子の代表である6年生が、このように思いやりあふれた子どもに育っていることをどうしても伝えたく、書いてしまいました。

児童には毎日いろいろな仕事があります。学級では、日直の仕事や係の仕事、給食当番や清掃当番もあります。高学年になると、委員会活動がありますし、今回の音楽会をはじめいろいろな行事で実行委員となり、特別に仕事をする人もたくさんあります。そのような活動を通して、谷田っ子達はどんなことでも、まわりの人の幸せを願いながらやれば、より価値のあるものになるということを学んでいます。そして、自分の役割でなくとも大切だと考えたことをずっと続けてくれる良さが育っています。例えば、谷田小学校には飼育委員会がないのですが、3年間ずっとウーパールーパーのことを見守り、世話を続けてくれている心優しい子もいます。先述の6年3組の子達も含め、これらすべてが谷田小にかかわる皆の笑顔につながっています。とても素敵なことだと思います。全ての活動は、どこかで必ずまわりの人につながっています。そのつながっている人を幸せな気持ちにすることができると思いつながら行動すれば、必ず人の心を動かすことができるのではないかと思います。谷田っ子達が、自然とそれを行い、だれかのために思って活動をして感動を広げ、逆にいろいろな人が自分のために活動をしてくれていることに感謝することができ、そして、一人ひとりが幸せになることを願います。私も素敵な谷田っ子達に出会い、その成長を間近で見守れていることに感謝しています。